

特集テーマ「集落問題及び合併問題の現状と展望」

今年度の特集テーマは、「集落問題及び合併問題の現状と展望」である。特に集落問題に関しては、新聞紙上などでも限界集落という表現を目にすることが多くなった。まずこの概念を若干整理しておきたいと思う。

はじめに集落という表現であるが、ここでは集落を、「一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位」と定義しておこう。この集落概念の中に、限界集落という概念は登場する。

「限界集落」という概念は、1988年に大野晃高知大学教授（現在長野大学教授）が提起した概念である。大野氏は、集落の状況に応じて4つの区分をつくり、その中の一つを「限界集落」と呼んだ。その4つとは「存続集落」、「準限界集落」、「限界集落」、「消滅集落」である。「存続集落」とは、集落のなかで55歳未満の人口が50%を超えており、後継ぎ確保によって集落生活の担い手が再生産されている集落をいう。「準限界集落」は、55歳以上の人口が既に50%を超えており、現在は集落の担い手が確保されているものの、近い将来その確保が難しくなってきた集落で、限界集落の予備軍的存在になっている集落である。そして、「限界集落」は、65歳以上の高齢者が集落人口の50%を超え、独居老人世帯が増加し、このため集落の共同活動の機能が低下し、社会的共同生活の維持が困難な状態にある集落をいう。共同活動の機能とは、道路・水路・山林や田畑、集落施設などの集落の共有地の自治、冠婚葬祭などの伝統的文化事業の継続、労働・教育・医療・福祉などの地域住民の生活基盤を形成する働きを持つものを指す。限界集落が進行すると、最後の「消滅集落」となる。すなわち、人口と戸数がゼロになり、文字どおり消滅してしまった集落である。

このような限界集落の定義が、はたして正しいか否かは、今後の研究を通して明らかにしなければならない。それほど、この言葉の持つ影響は大きくなりつつある。限界を克服する普遍的手立てが見いだされない現状のなかで、限界集落に指定された地域に暮らす人々や集落再生に日々取り組む行政や住民団体からは、限界という標記のみならず、こうした定義に科学的な根拠があるかを問う意見も多くなっているからである。

残念ながら、今回の特集では、限界集落論に一石を投じることを目的としていないことから、限界集落をめぐる地域等からの問題提起に応えることはできない。それは今後の課題としたい。今年度は、私たち地域研究者が岐阜県における限界集落をはじめ集落問題の構造や地域再生の方向を地域と大学が協働で探る第一歩として位置づけたいと思う。

さて、今年度は、農村集落に実際に暮らす人々を対象とした調査を高山市において実施する機会を得たことから、実際の集落生活の課題や今後の可能性などを住民アンケート並びにヒアリング調査を通したデータをもとに分析し、特集論文として紹介した。また、平成の大合併を経て合併市町村に暮らす住民の生活変化を調査した論文も紹介する。この論文は、直

接的には集落問題を扱ったわけではないが、集落の衰退を加速する社会要因として合併問題への関心が高まりつつあることから、本特集に掲載することにした。平成の大合併に関する住民評価としては、岐阜県では初めての調査報告である。

また、本研究所が主催した講演会の記録も紹介しているので、ぜひご覧いただきたい。今年度は京都大学の岡田知弘教授をお招きし、「住民一人ひとりが輝く『地域づくり』の経済学」と題してご講演いただいた。当日の会場には300名を超える聴衆が訪れ、熱心に聴講されていた。なお、岡田先生には、講演会終了後、本学学長と岐阜県知事が共同認証し岐阜県内外の住民参加のコーディネーターを務める岐阜県コミュニティ診断士の交流会にもご参加いただき、多数の診断士と交流いただいた。

この他、今年度の地域経済研究所共同研究の成果を2本、自由投稿論文を1本紹介しているので、是非ともお目通しをいただきたいと思う。

今年度も、地域経済研究所の活動を通して、私たち教職員は、岐阜県をはじめ東海地方の産業界や行政機関、社会福祉協議会やNPOをはじめとする市民団体の皆さまと様々な場面を通じてご一緒し、ご指導を賜ることができた。本書は、そうした教えを形にしたものである。本学では、新学長のもと建学以来初めて、10年後の建学50周年を目指して「大学ビジョン」を発表した。ビジョンの中の大学宣言のひとつに「日本一の『地域連携大学』として、地域における知の交流拠点となります」という宣言がある。地域経済研究所は、地域と大学が「知の交流」を極める拠点でありたいと思う。そのような願いを込めて、本誌を読者の皆さまのもとにお届けする。

2009年3月

岐阜経済大学地域経済研究所長

鈴木 誠